

株式会社エンプラス

2007年3月期

第1四半期決算説明会

2006年 7月26日
取締役 経営管理本部長
酒井 崇

2007年3月期 経営基本方針

創45 New Enplas の力強い発信を目指し

- **改革から成長へのゆるぎない健全経営軌道の構築**
- **発明力・量産供給力を高め、業界先行力の飛躍的向上**
- **アジア地域を最重点としたグローバル事業の再編・最適化**
- **新事業創出の加速**

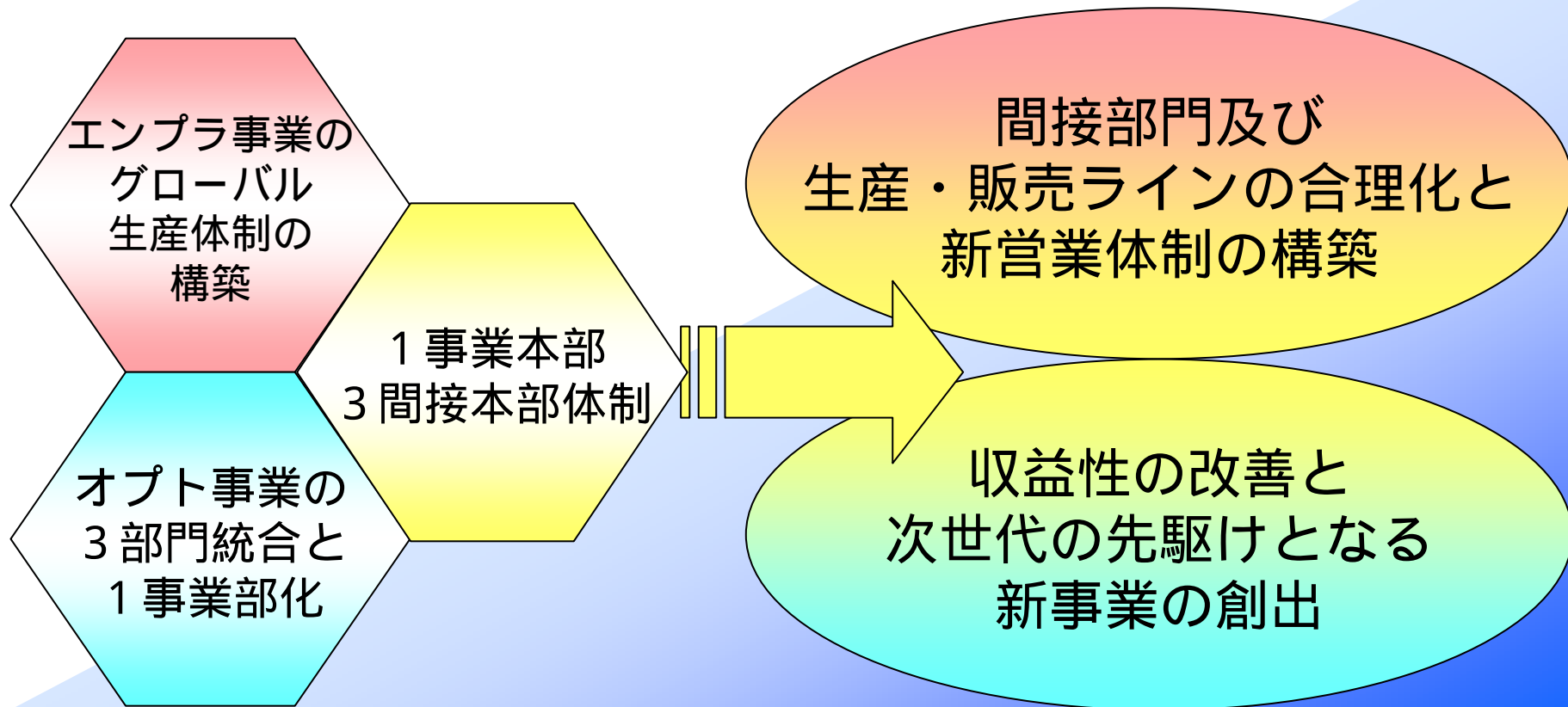
経営基本目標（連結）

売上高 400億円

経常利益 38億円

改革から成長への ゆるぎない健全経営軌道の構築

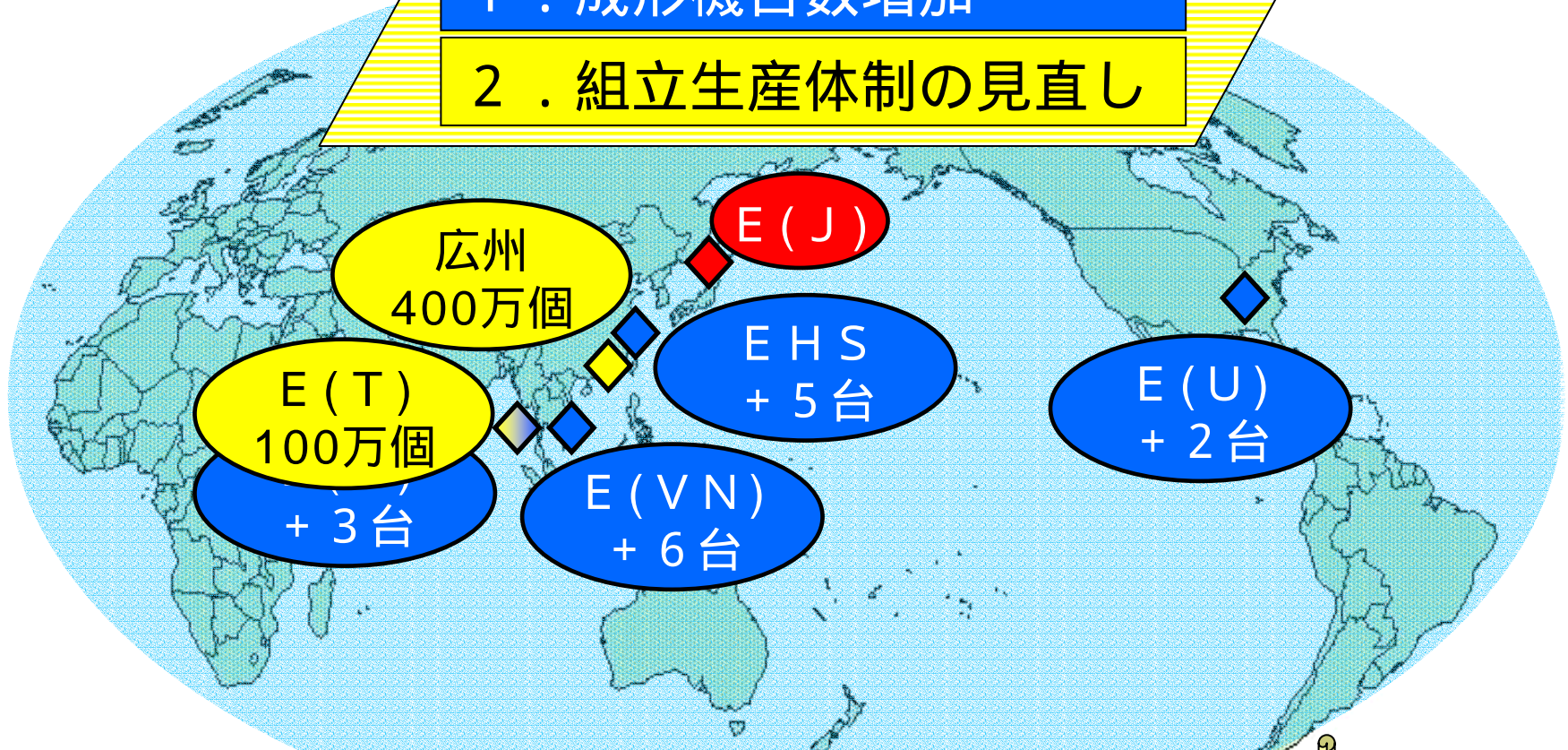
「3カ年中期経営計画」の最終年度



発明力・量産供給力を高め、 業界先行力の飛躍的向上

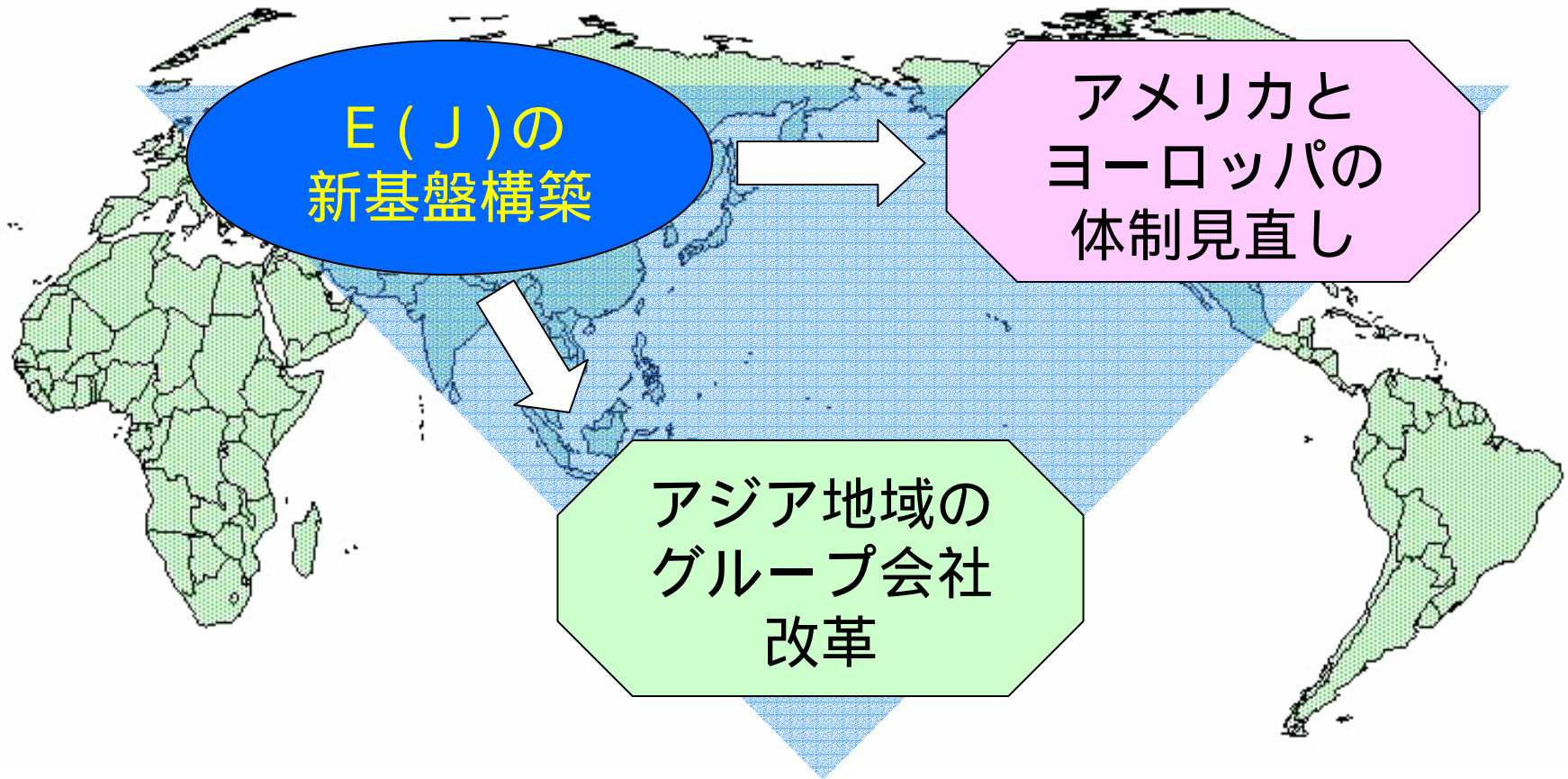
グローバル生産体制

1. 成形機台数増加
2. 組立生産体制の見直し



持続的安定成長基盤を構築

アジア地域を最重点とした グローバル事業の再編・最適化



本社(単体)によるグローバルな事業の牽引

損益実績及び計画

(単位：億円)

	2006年3月期 実績		2007年3月期 通期修正計画 (修正前)	{ 2007年3月期 上期修正計画 (修正前)	第1四半期 実績
<u>売上高</u>	401.8	10.4%	360.0	{ 170.0 }	86.0
(原価率)	(70.8%)	(1.4ポイント)	(400.0)	(195.0)	(69.1%)
<u>営業利益</u>	36.9	35.0%	24.0	{ 9.0 }	6.6
			(37.0)	(15.5)	
<u>経常利益</u>	38.3	37.4%	24.0	{ 9.0 }	6.6
			(38.0)	(16.0)	
<u>当期純利益</u>	15.0	7.1%	14.0	{ 3.0 }	2.6
			(21.0)	(9.0)	
1株当たり当期純利益	70.81円	2.53円	68.28円	{ 14.63円 }	13.08円
			(101.42)	(43.47)	
1株当たり配当	22.00円	2.00円	20.00円	{ 10.00円 }	

四半期実績推移

(単位：億円)

	2006年3月期				⋮	2007年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期
<u>売上高</u> (原価率)	99.0 (70.3%)	104.6 (70.3%)	108.6 (69.3%)	89.5 (73.7%)		86.0 (69.1%)
<u>営業利益</u>	9.1	11.3	12.8	3.6		6.6
<u>経常利益</u>	10.0	11.2	13.1	3.9		6.6
<u>当期純利益</u>	5.7	1.9	7.8	0.4		2.6
<u>1株当たり当期純利益</u>	27.53円	9.45円	38.03円	2.27円		13.08円

セグメント別売上計画

(単位：億円)

	2006年3月期 実績		2007年3月期 通期修正計画 (修正前)	(2007年3月期 上期修正計画 (修正前))	第1四半期 実績
エンプラ事業	154.7	3.4% →	160.0 (150.0)	[77.0] (75.0)	37.5
半導体機器事業	58.3	23.3% →	72.0 (68.0)	[34.0] (33.0)	16.1
液晶関連事業	90.4	33.6% →	60.0 (77.0)	[27.0] (37.0)	15.2
オプト事業	98.3	30.9% →	68.0 (105.0)	[32.0] (50.0)	17.0
計	401.8	10.4% →	360.0 (400.0)	[170.0] (195.0)	86.0

セグメント別四半期実績推移

(単位：億円)

2006年3月期

2007年3月期

第1四半期

第2四半期

第3四半期

第4四半期

第1四半期

エンプラ事業	39.6	39.9	38.1	36.8	37.5
半導体機器事業	13.0	14.1	15.6	15.5	16.1
液晶関連事業	18.7	24.8	27.2	19.5	15.2
オプト事業	27.5	25.6	27.4	17.6	17.0
計	99.0	104.6	108.6	89.5	86.0

参考指標

(単位：億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 修正計画	第1四半期 実績
<u>設備投資額</u>	36.9	20.0	4.4
<u>減価償却費</u>	33.1	28.0	7.1
<u>試験研究費</u> (売上高比)	18.6 (4.6%)	15.0 (4.2%)	3.7 (4.3%)

第1四半期決算概要

- 液晶関連事業の大幅減収
- 原価率の大幅な改善で黒字化
(前四半期比4.6ポイント減)
- ◆ 労務費、減価償却費、試験研究費を削減



減収・増益

2007年3月期 通期修正計画

➤ 液晶関連事業の回復遅れ

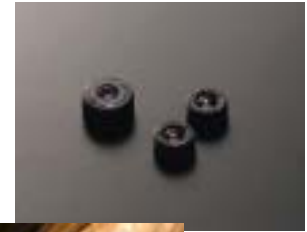
➤ オプト事業の戦略修正

OPU事業の安定拡大

OFC事業基盤の強化

AIS事業の優位性の確立

➤ グループ会社の組織再編



各事業セグメントの ビジネス動向

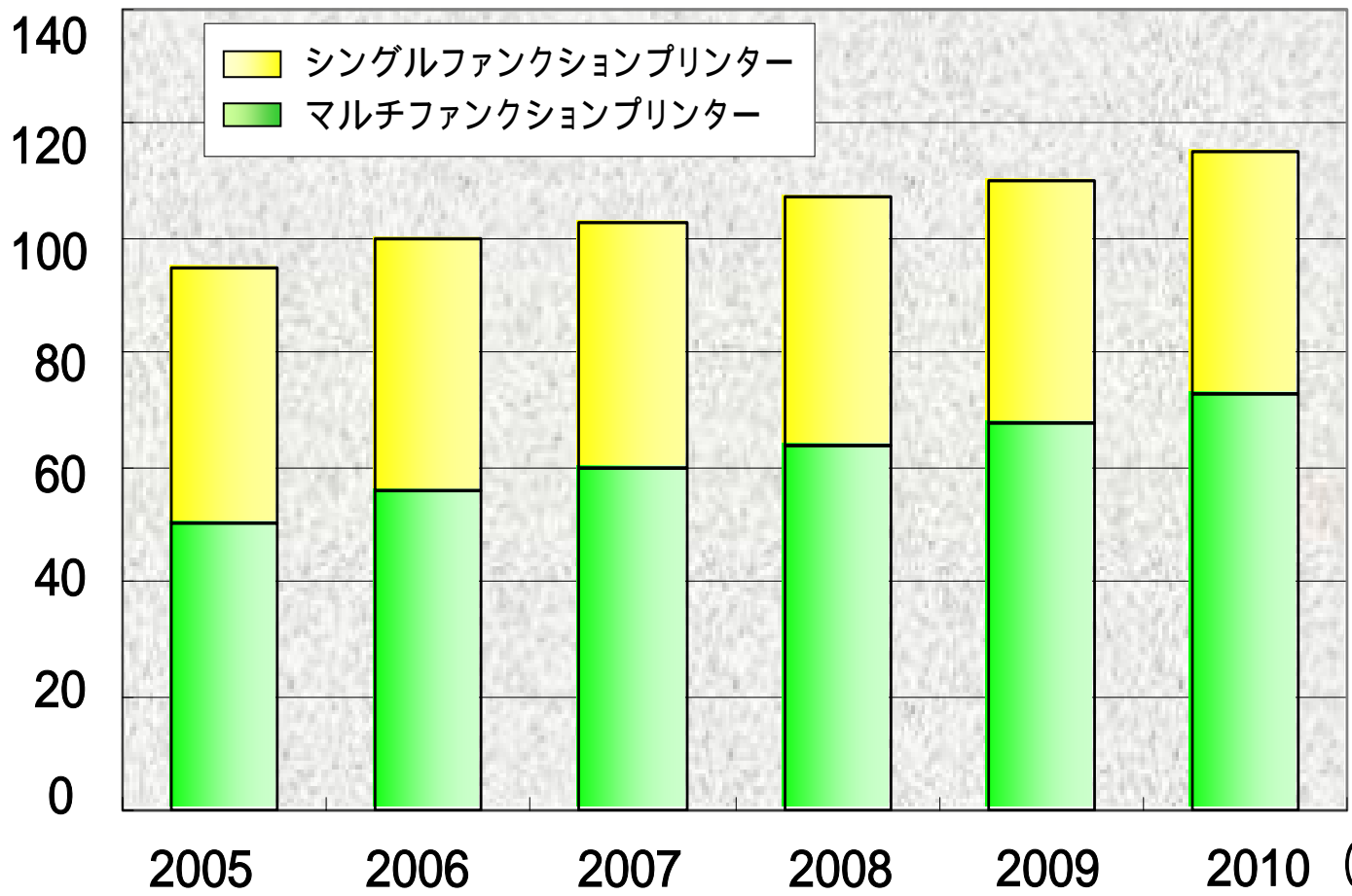
エンプラ事業の動向

▶ プリンターメーカーへ再注力

World Wide

インクジェットプリンター生産台数

(単位：百万台)



印刷速度の増加

ギヤ個数の増加

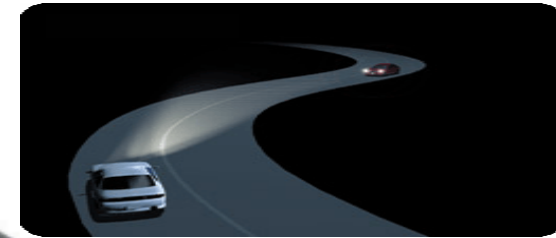
(当社予測)

エンプラ事業の動向

▶ エレクトロニクス&メカニクスの融合

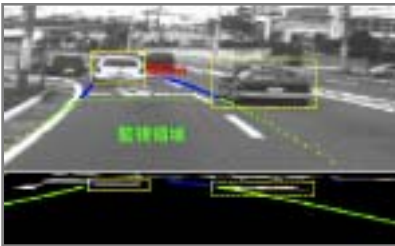


運転支援システム
センサー制御ブレーキ



先進前方照明
システム(AFS)

衝突回避システム



横滑り防止装置
(ESC)



低燃費
安全
快適



省電力
電子制御
電動化



高効率ギヤ
高精度ギヤ
低騒音ギヤ



高機能
プラスチック
ギヤ拡大


半導体機器事業の動向

▶ プロブカードの事業推進強化

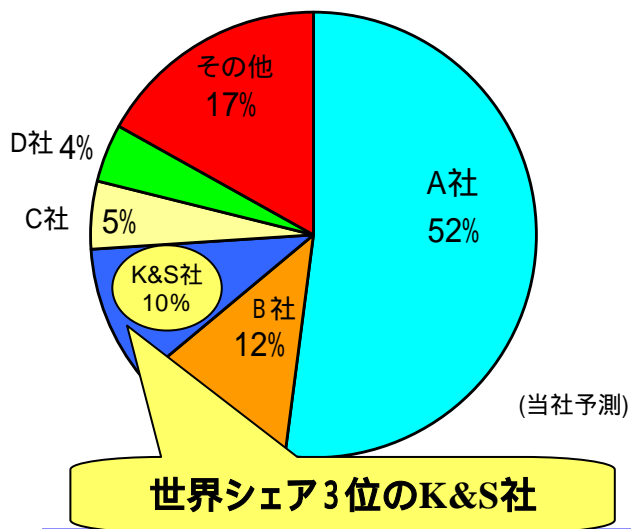


SV Probe社製プロブカードを
日本のお客様向けに設計・販売・メンテナンス

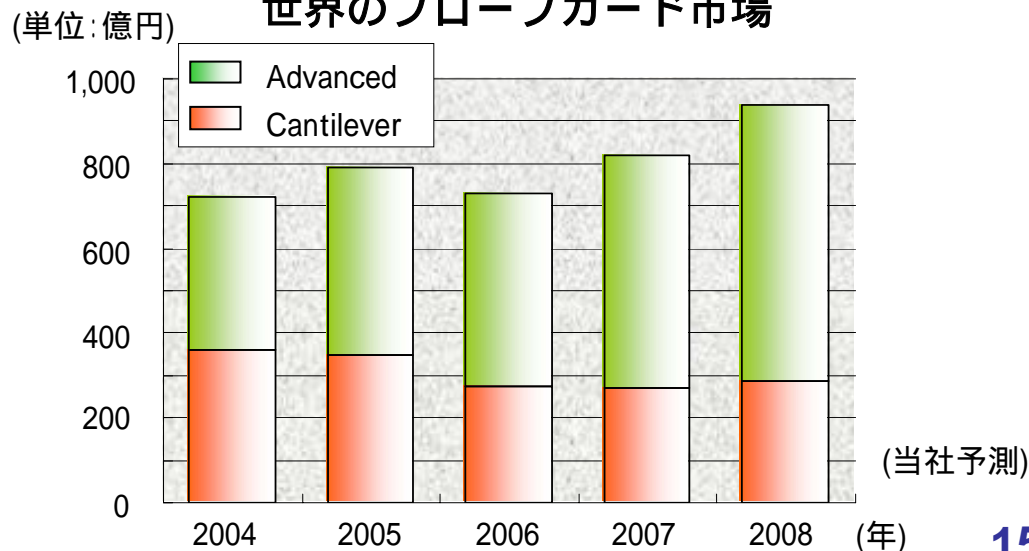
**SV Probe社による
Kulicke & Soffa社の部門買収により
製品事業拡大**



Advanced card 2004年シェア



世界のプロブカード市場



液晶関連事業の動向

➤ 2006年市場の変化

1. 市場価格の低下

- ・ノートPC用液晶パネル US\$110
(15インチ:昨年3月の最安値を割り込む)
構成部品への影響大
- ・Windows Vista上市による買い控え

2. BLの性能向上

- ・LGP単品でなくBLユニットとして改良
ノーマル方式vsPSP方式

売手市場から
買手市場に激変

3. 台湾メーカーの台頭

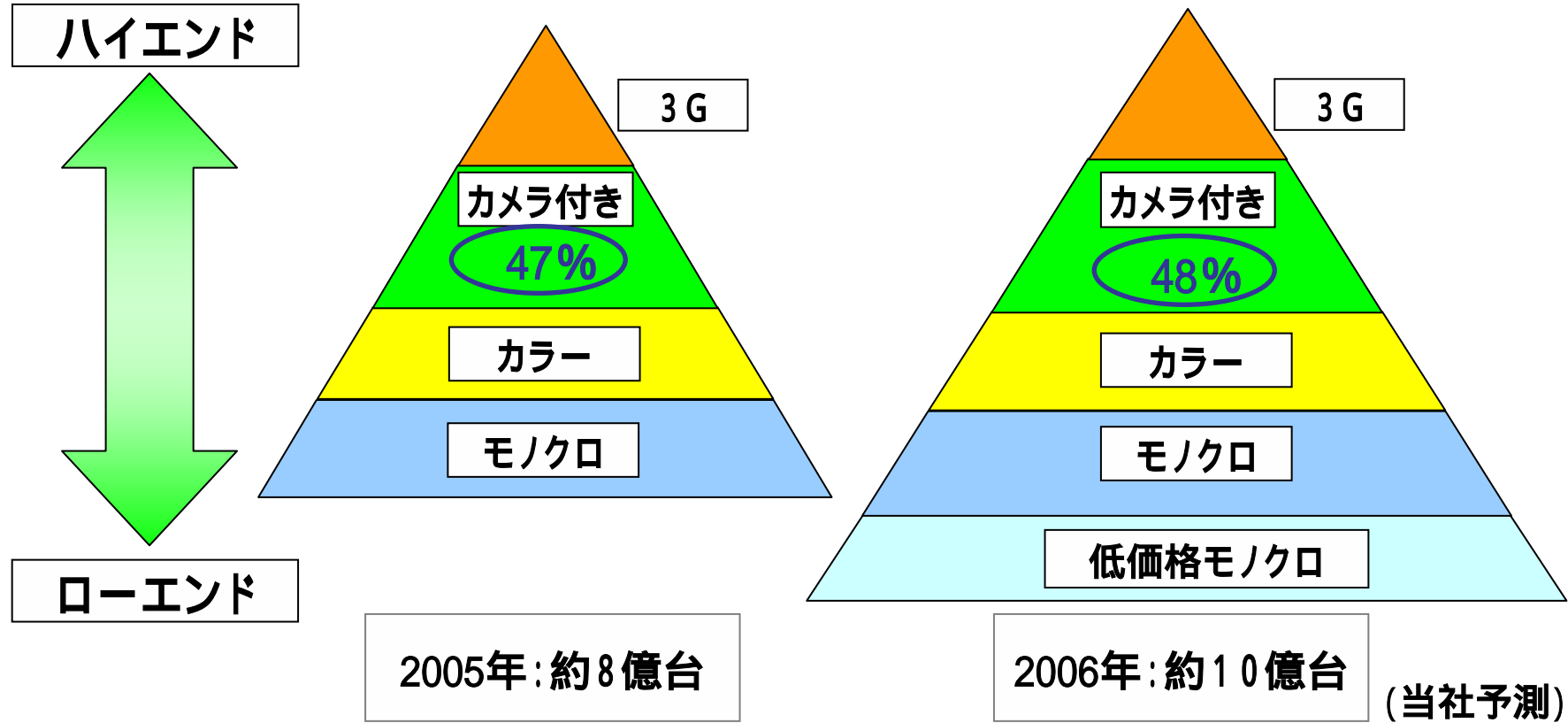
- ・汎用機種に加え中・高級機種も
(ターゲットゾーンの変化)
- ・QUANTA, ASUSTeK, Compal 社といった
大手メーカーの売上拡大

4. LCD & BLメーカーが 生産拠点を中国へ

- ・LG:年内に100%中国生産
- ・サムスン:年内に65%、来年完全移管
- ・台湾メーカー:廉価版を中国で生産中

オプト事業の動向

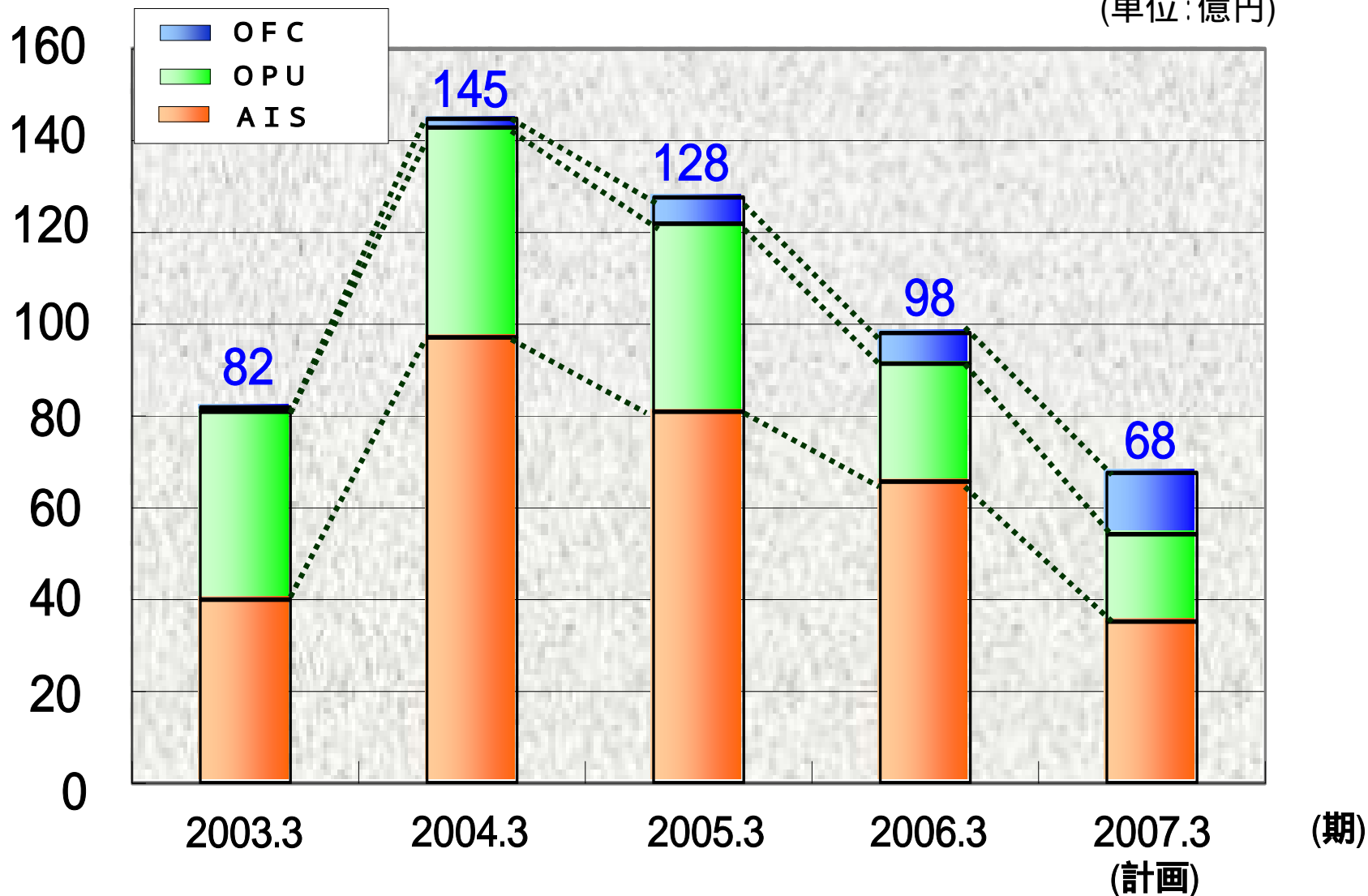
携帯電話市場 - World Wide -



2006年市場規模 1,110億ドル (前年比5%減)

オプト事業売上推移

(単位:億円)



Challenge 45, New Enplas

by intelligence and vitality ~ 英智と活力 ~

ご清聴ありがとうございました。

株式会社エンプラス